

NODA



第87期
営業報告書

株式会社ノダ

証券コード：7879



代表取締役社長
野田 励

ノダグループは、 木を活用した心地よい空間づくりによって 社会に貢献しながら、着実な成長を目指します。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社グループの第87期(2023年12月～2024年11月)の営業の概況等につきまして、ご報告申し上げます。
2025年2月

営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善の動きが見られたものの、物価上昇が続くなか個人消費は力強さを欠き、また、ロシア・ウクライナ問題の長期化や中東情勢の悪化、不安定な為替相場など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

住宅業界においては戸建を中心に需要の低迷が続いており、建築費高騰や職人不足などの影響から当連結会計年度の新設住宅着工は、前期に比べ総戸数3.5%減、床面積5.4%減となりました。また、住宅着工の不振などを受け、合板の荷動きも低調に推移しており、引き続き各社で生産量や入荷量の調整が行われました。

このような厳しい事業環境において当社グループは、収益確保のため、労働生産性の向上や固定費のコントロール、原材料の見直し、配送効率の向上など各種コストダウンの徹底に取り組みました。また、内装建材シリーズ「カナエル」の定着・拡販に注力するとともに、合板やMDF(中質繊維板)など素材については、市場動向や製造・輸入原価に即した販売価格の設定と適正な在庫水準の維持をはかりながら、シェアの確保に努めました。しかしながら、住宅の着工減が響き販売量が伸び悩むなか、原材料・副資材コストは引き続き高水準で推移し、さらに、物流コストの上昇や国産針葉樹合板の販売価格低下なども利益の圧迫要因となり、収益性は低下いたしました。

この結果、当連結会計年度における連結業績は、売上高67,039百万円(前期比8.5%減)、営業利益444百万円(同90.5%減)、経常利益675百万円(同86.5%減)となりました。また、減損損失の計上や繰延税金資産の取り崩しにより、親会社株主に帰属する当期純損失4,612百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純利益2,834百万円)となりました。

住宅建材事業

内装建材シリーズ「カナエル」をてこに、意匠性や省施工など多様なニーズに応える高付加価値製品の提案活動を継続するとともに、充実したラインナップの防音フロアやバリアフリー商品群「ユニバーサル ディレクト」等の拡販にも引き続き注力いたしました。さらに、軽量・重量いずれの衝撃音も低減する木造遮音・防火工法「シャーオン」の本格展開を第3四半期より開始し、木造集合住宅等における生活音対策として同工法の提案を積極的に行いました。これらの取り組みによって、新築戸建市場における需要の掘り起こしに加え、比較的堅調な貸家市場や、リフォーム・リノベーション市場、高齢者施設や公共・商業施設など非住宅市場のさらなる開拓を推進し、シェアの確保に努めました。

MDFについては、相次ぐ地震災害や国・自治体によるZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)普及促進を踏まえ、耐震性能や透湿性能に優れた「HBW」(構造用ハイベストウッド)の提案強化を引き続き推進いたしました。

しかしながら、住宅の着工減などの影響から建材・MDF製品全般について販売量が回復しないなか、生産調整の継続や高水準で推移する原材料・副資材価格などが利益を圧迫いたしました。この結果、住宅建材事業の売上高は40,329百万円(前期比4.8%減)、セグメント損失は10百万円(前期はセグメント利益442百万円)となりました。

合板事業

合板については、国産・輸入いずれも需要の低迷により販売量が低水準で推移する厳しい状況が続きました。

国産針葉樹合板は、国内出荷量が低迷するなか、当社グループを含めた合板メーカー各社は生産調整を継続いたしました。10月以降、ようやく荷動きに持ち直しの動きが見られたものの、販売価格は期を通じて値下がり傾向で推移いたしました。

輸入南洋材合板は、前期において港頭在庫の調整が進んだことから入荷量に持ち直しの動きが見られたものの、国内需要は依然として弱含みであり、販売価格は緩やかな値下がり傾向となりました。また、円安等の影響で仕入コストが高止まりとなり、採算性が悪化する厳しい状況が続きました。

この結果、合板事業の売上高は26,710百万円(前期比13.5%減)、セグメント利益は2,210百万円(同63.1%減)となりました。

配当について

当社の利益配分に関する基本方針は、業績の状況及び配当と内部留保のバランスに配慮しながら、配当の安定性を確保するとともに、株主の皆様への利益還元を行うことです。また、内部留保金につきましては、財務基盤の充実強化並びに今後の事業展開に役立てていく考えです。なお、当期(2024年11月期)の期末配当金につきましては、配当の基本方針並びに当期の業績等を総合的に勘案し、1株につき20円(中間配当金を含め当期の年間配当金は1株につき42円50銭、前期に比べ12円50銭の減配)とさせていただきます。

対処すべき課題

新設住宅着工戸数は、国内人口や世帯数の減少に伴い長期的に減少傾向で推移すると見込まれておりますが、すでに戸建を中心に低迷が続いており、2025年11月期も

本格的な回復は見込めない厳しい事業環境が予想されます。一方で、住み替え需要は底堅いものがあり、貸家市場やリフォーム・リノベーション市場は今後も比較的堅調に推移するものと思われます。また、法改正等により建築物の省エネ化や構造計算に関する規制が強化され、優れた強度や透湿性を持つ耐力面材の需要がさらに高まること期待されます。

当社グループはこのような事業環境のもと、新規顧客の獲得や既存顧客との取引深耕を図るため、新築戸建市場における競争力強化に加え、貸家・リフォーム市場のさらなる開拓を推進します。そのための取り組みとして、深刻化する職人不足の解決に貢献する省施工製品の開発・拡充や、連結子会社(株)ナフィックスや各地の施工業者との連携による材工販売の拡大、HBWのさらなる拡販、多様なニーズに応えるデザインや機能を備えた新製品の投入などにより、付加価値の高い提案活動に注力し、安定的な収益の確保に努めます。また、2025年11月期より連結範囲に含める子会社(株)アリモト工業との営業・施工分野での連携をさらに強化し、非住宅分野の開拓も一層推進いたします。合板やMDFなど素材につきましては、引き続き需要動向を注視しながら適切な仕入・生産を行い、コストに見合った適正な販売価格の設定に努めるとともに、中・大規模建築物向けなど用途拡大のための研究開発にも取り組めます。さらに、原材料や製造工程の見直しや、効果的な販促活動の徹底、配送効率の向上、固定費のコントロールなど、生産性向上やコスト削減の徹底により収益性を改善するとともに、IT投資や人材育成、職場環境改善の推進、災害対策や安全管理の徹底など各種施策を引き続き実施して、経営基盤の強化に努めます。

なお、これらと並行し、SDGsへの取り組みとして、植林により再生可能な木材資源である国産材を使用した国産針葉樹合板や、再生資源・未利用資源である廃木材のチップを使用したMDFを積極的に活用するとともに、健全な森林を整備するため、これらの原材料として間伐材を積極的に受け入れることで、引き続きCO₂の削減や持続可能な森林循環に貢献いたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ビジョン2030

木の心地よさを住まいから様々な空間へ

ノダグループは、持続的に成長し社会に貢献する企業であり続けるため、以下の通り経営理念を定めます。

【企業理念】
主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

【ミッション】 社会に果たすべき使命・木の良さを活かして快適な空間創造に寄与します
・木をムダなく使い、持続可能な森林循環に貢献します

【コアバリュー】 理念実現のための共通の価値観
共生・誠実・しんか(深化・進化・伸化・新化)



ビジョン2030実現のための経営戦略



理念実現のための基本姿勢



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ノダは、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

～木をムダなく使い、持続可能な森林循環に貢献～

私たちは、自らの事業を通じて、SDGsの17ある開発目標のうち以下の目標を達成するために、グループをあげて取り組みます。

11 住み続けられるまちづくりを

目標11 「住み続けられるまちづくりを」
誰もが幸せに住み続けられるまちをつくるために、ノダは「サステナブルな木造建築の実現」「エコロジー部材の提供」を通じて安心・安全に暮らせる空間づくりに努めてまいります。

12 つくる責任 つかう責任

目標12 「つくる責任つかう責任」
持続可能な生産と消費を確保するために、ノダは「木質資源の製品・用途開発」「循環型の木質資源の活用」「廃資源もムダなく使いこなす」に努めてまいります。

13 気候変動に具体的な対策を

目標13 「気候変動に具体的な対策を」
気候変動の原因となる温室効果ガス(主に二酸化炭素)を削減するために、ノダは生産工場におけるエネルギー効率向上はもとより、太陽光発電などクリーンエネルギーの利用や再生可能エネルギーの利用などにより、地球温暖化防止に努めてまいります。

15 陸の豊かさも守ろう

目標15 「陸の豊かさも守ろう」
森林循環に貢献するために、原木生産者の安定販売先としての受け皿になるとともに、自社保有林での伐採後の植林を進め、木質資源の価値創造に努めてまいります。

1. MDFを製造

再生資源・未利用資源である廃木材のチップを繊維化・加熱・圧縮してエコ素材のMDFを製造しています。優れた構造強度や高い耐久性を持っている高耐水MDF(構造用ハイベストウッド)により、より快適な住まいを実現できます。

地震に強い
壁倍率
4.0倍



2. 国産材を使用

日本で育てられた木を積極的に使用しています。循環型資源形成を目指し、環境保全、CO₂の削減、資源保護に貢献しています。



3. 間伐材を使用

間伐によって木はまっすぐ充分に成長し、森林に水源かん養機能の向上や土砂崩れの予防など様々な効果をもたらされます。国産針葉樹合板やMDFの原料として間伐材を積極的に利用することで、間伐材の安定した受け入れ先となり、健全な森林の整備の促進に貢献しています。



4. 安全に暮らせるまちづくり

合板の製造過程で発生する芯材(丸太の剥き芯)を、防潮堤の資材として海岸防災林の再生に活用いただくことで、自然災害のリスクを低減させ、より安全に暮らせるまちづくりに貢献しています。



～HBW(構造用ハイベストウッド)～

一生を預ける家を本気で守りたい、その想いで作り上げた耐力面材です。

3つの特徴

① 繰り返し地震に強い
実物大住宅モデルによる耐震性能実験
震度7の強い揺れで
5 回連続
倒壊 & 破損なし

② 木質系面材No.1の透湿性能

湿気を通し、腐食やシロアリにも高耐性
HBWの湿気を逃す力
No.1
木質系面材

当社 HP (HBW ページ)
QRコード

③ 耐震性能シミュレーション wallstatにも対応

希望の間取りで耐震性をシミュレーション
WALL STAT

当社 HP (耐震シミュレーション)
QRコード

～耐震性能見える化協会様とセミナーを実施～

高い耐震性能を持つHBWの認知度をさらに高めるため、全国各地でコラボセミナーを開催。今後も地震に強い安心・安全な住まいづくりに貢献します。





～自分らしい「住まい」をCanaeru～

「より快適で、オリジナリティのある住まいを追求したい」というご要望に応えられる内装建材シリーズ。多様化するライフスタイルに合わせたテクスチャーとカラーで、あなたらしい空間をご提案します。

C-Design



R-Design



T-Design



～「心地よい暮らし」をかなえる収納デザイン～

Canity Square Frame



「アイアン×天然木」の異素材の組み合わせが落ち着きと洗練をもたらします。

Canity 押入棚セット



クローゼットだけでなく和室の押入れにも対応できます。

Canity プラスアイデア収納



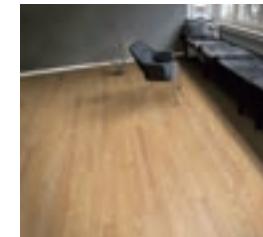
あかりサポート壁厚収納で、暗くなると発光するため、防災グッズ等を収納できます。

～シャーオン（木造遮音・防火工法）～

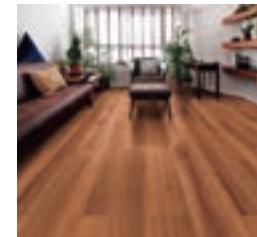
共同住宅において多くのご相談があります階上の軽量・重量衝撃音を低減させる工法で、快適な生活をご提案します。



ノダ対応フロア



メイボクデザイン防音45



カナエル R防音45

～J FACE VC 日本のフロア ひのき～

天然ひのきならではの肌触りで、耐久性・施工性を向上



～Grace Face グレースフェイス～

多彩なライフスタイルに、ひとクラス上の快適さをお届けします。また、防滑加工を施した床はペットはもちろん、お子様やお年寄りにもやさしく寄り添います。



すべりにくい加工で、ペット汚れにも対応

表面にすべりにくい加工を施し、人やペットの快適な歩行に配慮。また、耐アンモニア塗装によりペットの粗相(尿)による床面の変色・ツヤ変化を抑えます。

～ドラマ美術協力～

全国ネットで放映されたドラマに美術協力しました。



床材：カナエルC12・JベースWフィットVC
ウォールナットダーク色 / オークグレージュ色



床材：ラスティックフェイス・JベースVC ブラックチェリー



床材：カナエルC12・JベースWフィットVC ウォールナットダーク色
上り框：後仕上げタイプ ウォールナットダーク色

～ショールームのご案内～

ノダのショールーム「快住ラボ」では、快適な住まいをまるごと体験していただけるよう、3つのテーマで構成されています。

①カナエルパーク

お気に入りのインテリアスタイルを見つけることができます



②UDスタジオ

実際に見て、触れて、快適な住まいをイメージできます



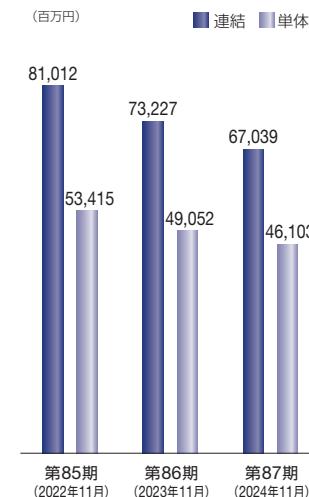
③床材・建具コーディネートゾーン

色の組み合わせやドアデザインのコーディネートを確認できます

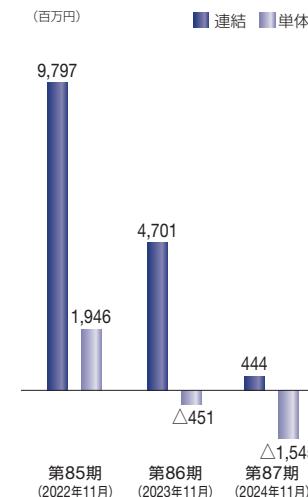


決算ハイライト

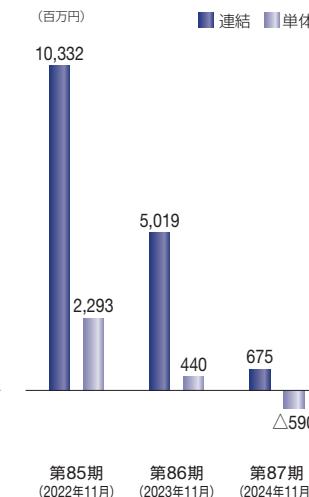
売上高



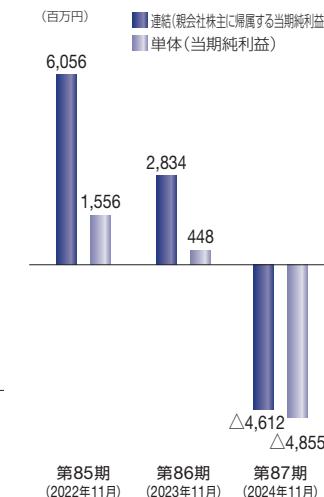
営業利益



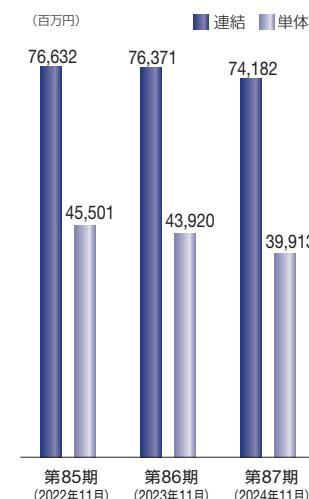
経常利益



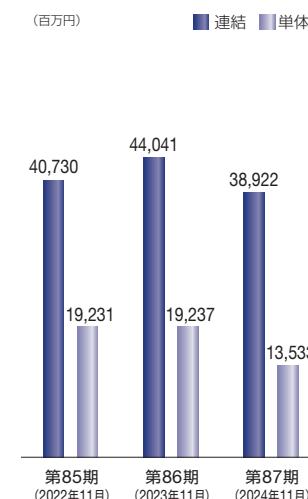
当期純利益



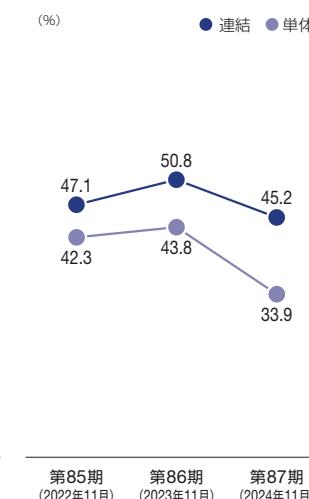
総資産



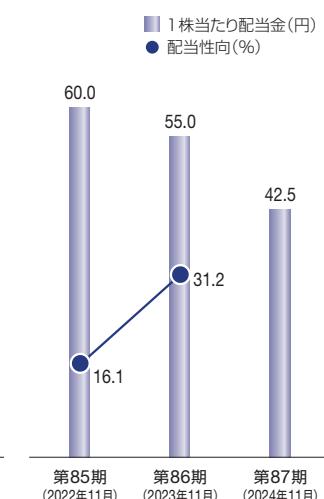
純資産



自己資本比率



年間配当金



会社の概況

会社名 株式会社ノダ
 本社 東京都台東区浅草橋5丁目13番6号
 設立 1938年1月8日
 資本金 21億4,100万円
 従業員数 1,036名(連結1,761名)

営業拠点

北海道(札幌市)、旭川、帯広、青森、北東北(盛岡市)、東北(仙台市)、郡山、東京(台東区)、千葉、柏、埼玉(さいたま市)、高崎、宇都宮、茨城(水戸市)、横浜、厚木、西東京(八王子市)、甲府、新潟、長野、静岡、沼津、浜松、名古屋、三重(鈴鹿市)、三河(岡崎市)、岐阜、金沢、大阪、京奈(京都市)、兵庫四国(神戸市)、中国(広島市)、北九州、大分、福岡、長崎(諫早市)、熊本、宮崎、南九州(鹿児島市)、沖縄(那覇市)、他

ショールーム

東京ショールーム : 東京都台東区
 仙台ショールーム : 宮城県仙台市
 横浜ショールーム : 神奈川県横浜市
 清水ショールーム : 静岡県静岡市
 名古屋ショールーム : 愛知県名古屋市
 大阪ショールーム : 大阪府大阪市
 福岡ショールーム : 福岡県福岡市

工場

清水工場 : 静岡県静岡市
 富士川工場 : 静岡県富士市

連結子会社

石巻合板工業株式会社 : 宮城県石巻市
 アドン株式会社 : 静岡県静岡市
 株式会社ナフィックス : 東京都台東区
 アイピーエムサービス株式会社 : 宮城県石巻市
 PT. SURA INDAH WOOD INDUSTRIES (スラインダー社) : インドネシア

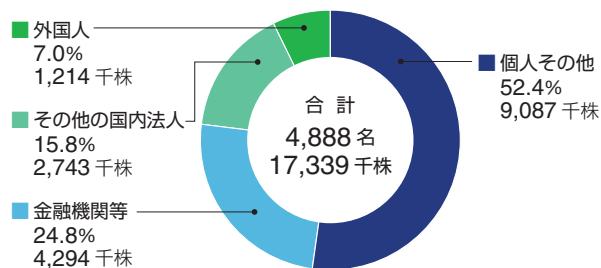
持分法適用関連会社

SANYAN WOOD INDUSTRIES SDN. BHD. (サンヤン社) : マレーシア

株式の状況

発行可能株式総数 68,303千株
 発行済株式の総数 17,339千株 (自己株式1,683千株を含む)
 株主数 4,888名

所有者別株式分布状況



2025年2月27日開催の第87回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告および決議されましたのでご通知申し上げます。

報告事項

- 第87期(自 2023年12月1日 至 2024年11月30日) 事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 第87期(自 2023年12月1日 至 2024年11月30日) 計算書類報告の件
- 上記の各内容を報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案 剰余金の処分の件
 第2号議案 取締役11名選任の件
 第3号議案 監査役1名選任の件
- 上記すべて原案どおり承認可決されました。

なお、本株主総会終了後開催された取締役会において、代表取締役及び役付取締役が選定され、また、本株主総会終了後開催された監査役会において、常勤監査役が選定され、それぞれ就任いたしました。
 この結果、当社の役員は下記のとおりとなりました。

役員一覧 (2025年2月27日現在)

代表取締役社長 野田 励 取締役 渡邊 慎也
 代表取締役専務 野田 四郎 社外取締役 塩坂 健
 常務取締役 高津原健太郎 社外取締役 高井 章光
 取締役 宮田 佳明 常勤監査役 長谷川 倫源
 取締役 良知 正啓 社外監査役 三浦 悟
 取締役 新美 泰 監査役 上原 敏彦
 取締役 天岸 知樹 社外監査役 春山 直輝
 取締役 服部 裕仁

配当金のお支払いについて

第87期期末配当金は、口座振込をご指定いただいている株主様には「配当金計算書」及び「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定いただいている株主様には「配当金計算書」及び「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたので、お早めにご確認ください。

また、上記以外の株主様は、同封の「期末配当金領収証」により、2025年2月28日から同年3月31日までの間に、お近くの郵便局またはゆうちょ銀行でお受け取り下さい。

〔 次回以降の配当金について現金でのお受け取りにかえて銀行またはゆうちょ銀行(郵便局)の預貯金口座へのお振込をご希望の方は、お取引の証券会社等あてにお問い合わせください。 〕

株 主 メ モ

事業年度 12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会 2月
基準日 定時株主総会 11月30日
期末配当金 11月30日
中間配当金 5月31日
そのほか必要ある場合は、
あらかじめ公告して定めます。

単元株式数 100株
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
公告掲載新聞 日本経済新聞

《株式に関する手続きのお申し出先について》

●証券会社等へ当社株式をお預けいただいている場合

当社株式をお預けいただいている各証券会社等にお申し出下さい。なお、未払配当金の支払い、支払明細発行については、下記「みずほ信託銀行株式会社」の郵便物送付先、電話お問合せ先、お取扱店をご利用下さい。

●証券会社等へ当社株式をお預けいただいていない場合(特別口座)

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先/電話お問合せ先)

〒168-8507東京都杉並区和泉2丁目8番4号

電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

(お取扱店) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店(※)

(※)トラストラウンジではお取り扱いできません。

なお、電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は、上記の電話お問合せ先までお問合せ下さい。

ホームページ、公式SNSのご案内

当社のホームページにてシミュレーションツールやWebカタログ、新製品・おすすめ製品情報がご覧いただけます。また、当社の公式Facebook・Instagramでも様々な情報を発信しておりますので、ぜひご覧下さい。

<https://www.noda-co.jp>



環境保全のため、FSC®認証紙と環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。

ノダ ホームページ



公式Facebook



@NODA_corporation

公式Instagram



@noda_corporation

Facebook : <https://www.facebook.com/NODAcorporation/>
Instagram : https://www.instagram.com/noda_corporation/